

「逃げる」二月は言葉通りあっという間に過ぎてゆきました。いよいよ年度末の3月のはじまりです。

入試では、ケータイを使った新たな情報漏れが発生。合格発表、卒業式など学校はあわただしいなかにも、悲喜こもごも、新たな区切りの日々が続きます。ネットワークも、活動がだんだん広がってきています。きちんと総括をしながら次のステップを考える手がかりとして、メルマガ26号をお送りします。

◆ 目次

【1】最新活動報告

1. 経済教育ネットワーク京都部会（第10回）開催
2. 経済教育ワークショップ鹿児島開催
3. 経済教育ワークショップ札幌開催
4. 経済教育ネットワーク東京部会（第36回）開催
5. 経済教育ネットワーク大阪部会（第22回）開催

【2】イベントカレンダー

これからの予定をまとめて掲載します

4月2日の入試問題プロジェクト関連のシンポジウム、2011年度の夏休み経済教室の準備状況などを報告します

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

1) 京都部会（第10回）が開催されました。

第10回京都部会が、2月4日同志社大学光塩館で開催されました。

ゲーム教材の有効性などの報告・検討が行われました。内容の概略は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto010report.pdf>

2) 経済教育ワークショップ「鹿児島」が開催されました。

経済教育ワークショップ「鹿児島」が2月5日、鹿児島県総合教育センターで開催されました。

今回のワークショップは中学の先生向けのもので、ネットワークからは篠原代表、目黒中央中学の三枝利多先生、弘前大学の猪瀬武則教授が講演者、問題提起者、助言者として参加しました。

内容の概略は、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/ws20110205kagoshima.pdf>

3) 経済教育ワークショップ「札幌」が開催されました。

経済教育ワークショップ「札幌」が2月20日、キャリアバンクセミナールームで開催されました。札幌では、昨年夏の「先生のための経済教室」に引き続くものです。今回は、休日にも関わらず3名の中学高校の先生の参加。ネットワークからは篠原代表、同志社香里高校の藤井宏樹先生が参加しました。終了後は、札幌部会としての活動の可能性や今後の取り組みについての情報交換を行いました。

内容の概略は、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/activity/ws/WS20110220Sapporo.pdf>

4) 東京部会 (No. 36) を開催しました

日時：3月4日(金) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部3号館(図書館)4回会議室

内容の概略は、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo036report.pdf>

5) 大阪部会 (No. 22) を開催しました

日時：3月5日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を掲載します。

■入試問題シンポジウムと討論会を開催します。

日時：2011年4月2日(土) 13時00分～17時00分

場所：日本大学経済学部7号館(大学院)

内容：第一部 入試問題を総括する

基調報告

シンポジウム：大学、予備校、高校代表2名

第二部 講演「経済教育に経済学はいらない」

駒澤大学経済学部准教授 飯田泰之

参加方法や内容の詳細は以下の HP をご覧ください。本年度の入試問題プロジェクトの総括、入試問題の改善案、大学への提言などが提起される予定です。

シンポジウムには、予備校（代々木ゼミ代々木ゼミナール教育総合研究所 リソース開発・教員研修センター 部長鍋島 史一氏）の参加が予定されています。講演は、テレビや著作で精力的に活動されている若手経済学者の代表飯田泰之先生をお願いしています。学年初めで多忙な時期ですが、ぜひご参加ください

<http://www.econ-edu.net/announcement/20110402Symposium%20Exam.pdf>

■経済教育ワークショップ「沖縄」を開催します。

日時：2011年3月19日（土） 14時00分～17時00分

場所：沖縄大学3号館306教室

内容：講演：中学校公民「教科書」を読み解く

教材提案 「住宅メーカー 職場シュミレーション」

討論：ゲーム教材の使い方

参加方法などは以下の HP をご覧下さい。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS%20okinawa.pdf>

■夏休み経済教室準備の日程が決まりました。

第四回になる、東京証券取引所と共催の、「夏休み経済教室」の日程が確定しました。今年も、東京高校、東京中学、大阪、名古屋に加えはじめて福岡を予定しています。日程は、名古屋8月1・2日、福岡8月4・5日、大阪8月8・9日、東京中学向け8月11・12日、東京高校向け8月16・17日です。今年も、地歴の先生方向けの講義や、新しい中学教科書を読み解くなどの新しい内容も企画中です。

なお、札幌と福岡は隔年開催となり、札幌は来年を予定しています。また、今年も、金融広報中央委員会、各地の金融広報委員会の後援もいただける予定です。日程や内容など確定事項は確定し次第順次 HP にアップする予定です。

■『経済セミナー』（日本評論社刊）で連載がはじまります

雑誌『経済セミナー』は、経済学に関心を持つ学生、研究者向けの隔月刊誌です。4月からの新年度から、ネットワークメンバーによる中高の経済教育の実践報告が6回にわたり掲載される予定です。第一回目は2011年4・5月号（3月25日発売予定）に掲載されることになっています。どうぞ手に取ってお読みください。

【 3 】 授業のヒント

国際経済分野、特に南北問題での定番教材に「貿易ゲーム」があります。イギリスの開発教育のなかで開発されたゲーム教材です。日本でも、マニュアルが翻訳されていて、学校だけでなく社会教育などでも活用されています。

「貿易ゲーム」はハンディをもった国（チームが）定められた製品を作るときにどんな取引ができるか、また、初期のハンディをどう克服できるか、もしくはできないかを実感させるゲームです。多くは、南北の格差で南の国の大変さ、くやしさを実感したという感想が得られることが多い教材です。

ところが、国際経済の授業を終えた時点で、総括的にやらせると従来よくでてくる感想とは違う結果が得られることがあります。比較優位や経済発展の条件をしっかりと学ばせておくと、ハンディを負った途上国でも、自分たちのメリットは何か（例えば人口の多さなど）を見つけて、しっかり交渉して、うかうかしている中進国を抜いてゆく国も出てきます。もちろん、ハンディを超えられず呆然として、悔し涙にくれるチームが多いのですが、知恵の使い方が大事と感想に書く生徒が結構でてきます。

南北問題、モノカルチャ、先進国の責任というある種の定型的パターンをもって授業をしているのは、ひょっとして私たち授業者であり、生徒はもっと柔軟なのかもしれません。

ちなみに、振り返りも含めると2時間以上が必要とされているこのゲーム、私は45分で作ってしまいます。振り返りは200字作文で書かせて後で総括します。

ポイントは、一通りの講義の後にやらせることです。

【 4 】 編集後記（みみずのたはこと）

入試問題の検討を継続的にやっていますが、今年も「問題」の問題がでてきました。大手予備校の解答例も全く一致せず、私自身もどれが正解かわからない問題です。しかたがないので、その大学の入試課に問い合わせしてみました。回答は予想通り、内容や正解に関してはお答えできないということでしたが、ケイタイでの漏洩より、入試の質の方がよほど教育現場に影響があるように思うのですが、どうなのでしょう。（新井）



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

(C) Network for Economic Education ◆◇